

「エスビューア」の主な機能と活用例

数研出版 編集部

2022年に新高等学校学習指導要領が実施されて以降、数研出版の新しいデジタル教科書／デジタル副教材「エスビューア」は多くの学校でご導入いただき、先生方のご授業や生徒の皆様の学習において、さまざまな場面でお役だていただいております。本誌97号などでもご紹介してきましたが、今号ではその主な機能について、具体的な活用例も交えてあらためて詳しくご紹介します。

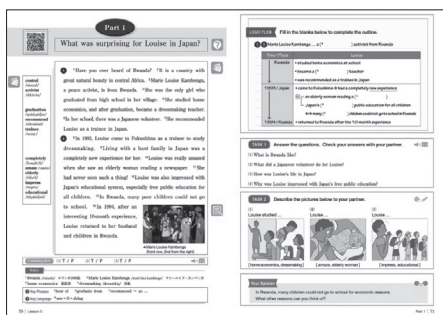
以下、各機能への対応をマークで示しています。

指導者用デジタル教科書(教材)…**[指]** 学習者用デジタル教科書…**[学]** 学習者用デジタル教科書・教材…**[学+]**
学習者用デジタル副教材 …**[副]**

1. 基本的な機能

●紙面表示 **[指]** **[学]** **[学+]** **[副]**

表紙、見返しを含め、書籍の内容をすべて収録しています。授業時に紙面を大きく映し出すことで、教員と生徒間、また生徒同士での情報共有が容易になり、スムーズな授業展開を可能にします。



●ツールバー **[指]** **[学]** **[学+]** **[副]**

「ペン」「ふせん」「スタンプ」「消しゴム」「拡大・縮小」「しおり追加」「目次・検索」などの基本的な機能が利用できます。



2. 新出語・本文の拡大表示機能など

●テキストビュー **[指]** **[学+]** **[副]**

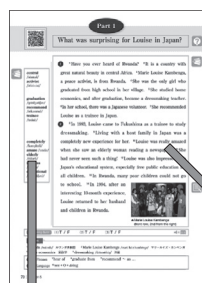
新出語や本文は、ワンクリックで大きく表示できます。さらに本文表示では、文字サイズや行間の調整も可能です。

本文の音声再生時のテキスト表示は、「カラオケ」「フェードイン」「フェードアウト」などの複数の方式に対応しています。例えば、「カラオケ」では音声に合わせてテキストの文字色が変わるため、綴りと音の関係や、音の脱落や同化といった発音の現象に意識が向くようになります。

音声の再生速度は0.5倍～1.5倍の幅で調整可能です。また、「指導者用デジタル教科書(教材)」では本文の日本語訳(英文と合わせて／日本語のみ)を表示できます。これらにより、習熟度や学習目的に合わせて、さまざまな方法で本文が活用できます。

さらに、「英語コミュニケーション」では、本文のフレーズ表示にも対応しています。フレーズ間にブランクを設けた音声再生ができるため、フレーズごとの音読練習が可能です。

➡具体的な活用例は4. を参照



◀新出語／本文のリンク
枠をクリックすると、
テキストビューが開き
ます。



●スライドビュー

[指], [学+], [副]

問題や写真といった紙面の各要素を拡大表示できます。さらに、「指導者用デジタル教科書(教材)」では解答や和訳の表示、リスニング問題の音声再生・スクリプト表示などもできます。

▲スライドビュー

解答のふせんはワンクリックではがせるので、生徒の反応を見ながら適切なタイミングで解答を表示できます。

▲答え合わせ

注目!

「英語コミュニケーション」では、以下の4つの機能(フラッシュカード、スライドショー、速読トレーニング、通訳トレーニング)も利用可能です。

●フラッシュカード

[指], [学+]

新出語や本文(一部を除く)をフラッシュカード形式で再生できます。英語カード、日本語カード、発音記号カード、英日併記カードなどを組み合わせて使用できます。

→具体的な活用例は4. を参照

▲フラッシュカード(上: 単語/下: 本文)▼

●スライドショー(I・IIのみ)

[指]

I・IIの「指導者用デジタル教科書(教材)」では、各レッスンの題材に関するスライドショーが再生可能です。音声・字幕それぞれで、英語・日本語・OFFの切り替えができます。

▲スライドショー

スライド内容に合わせてナレーションが流れます。字幕の ON・OFF、英語・日本語を切り替えることで、習熟度に合わせたリスニング活動として扱うのも効果的です。

●速読トレーニング

[指], [学+]



画面下部の START ボタンを押すと、英文が表示され、同時に WPM(words per minute)の計測が始まります。

ノーマルモード 語数と読み終えた時点での経過時間から WPM を算出。

チャレンジモード あらかじめ目標 WPM を設定し、その制限時間内に読み終えられたかどうかを判定。

●通訳トレーニング(I・IIのみ)

[指]



I・II では、教科書本文を使い、「英→日」「日→英」を制限時間内に訳す(話す)練習ができます。

「フレーズごと」または「1文ごと」に表示された英語または日本語を訳していきます。

「自動めくり」モードの場合は、速読トレーニングと同様、タイマーの制限時間内に訳します(制限時間に達すると、解答(訳)が表示されます)。

※「英語コミュニケーションⅢ」については、『BLUE MARBLE』『BIG DIPPER』は Section I・II においてのみ、『COMET』は Section I においてのみ、テキストビュー・フラッシュカード・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。
「論理・表現Ⅲ」については、本課のみ、テキストビュー・スライドビュー等のコンテンツを収録しています。

3. その他の便利な機能

●教材連携(I・IIのみ)

[指], [学+], [副]

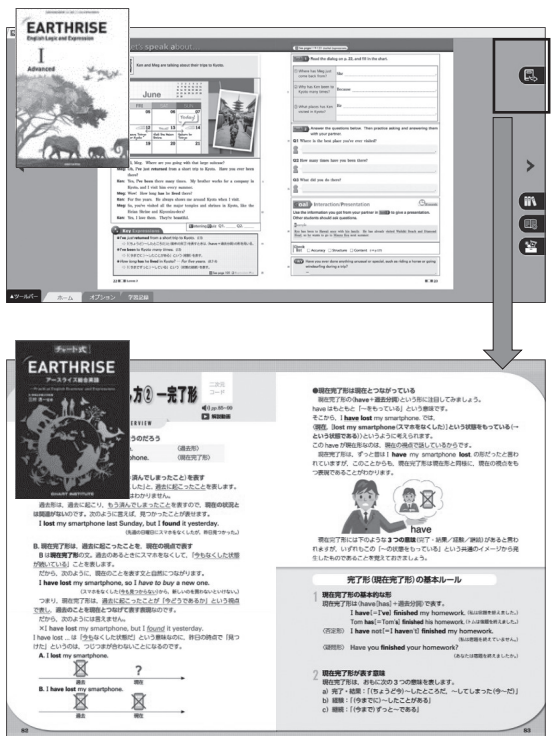
複数のデジタル教科書／デジタル副教材をご採用いただいた場合、閲覧中のページや問題から、関連する教科書／副教材(参考書・グラマーテキスト)のページにジャンプすることができます。

例)

・EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced [学+]

・チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語 [副] を採用している場合

『学習者用 デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced』を使用中に、各課に出てくる文法事項の詳しい解説を参照したい場合、右上の教材連携ボタンをクリックするだけで、『デジタル副教材 チャート式シリーズ EARTHRISE 総合英語』の該当ページを開き、解説を確認することができます。



参考書の詳しい解説を確認した上で、教科書の活動に取り組むと、より理解が深まります。

4. 活用方法

●書き込み機能の活用

「ペン」「スタンプ」などの機能を使用して、画面上に自由に書き込みをすることが可能です。スタンプは、文構造の解説に活用できるものを豊富にご用意しています。

① ¹Have you ever heard of Rwanda? ²It is a country with great natural beauty in central Africa. ³Marie Louise Kambenga, a peace activist, is from Rwanda. ⁴She was the only girl who graduated from high school in her village. ⁵She studied home economics, and after graduation, became a dressmaking teacher. ⁶In her school, there was a Japanese volunteer. ⁷She recommended Louise as a trainee in Japan. **アクセントに注意**

② ⁸In 1993, Louise came to Fukushima as a trainee to study

関係代名詞

▲画面上への書き込みの例

S V O C

M 主語 動詞 目的語

▲スタンプの例

活用例

事前に本文中に文構造のポイント(例 文法, 重要表現, 指示語など)を書き込んでおく[色分けも可能], 授業で書き込みを提示。

→板書の時間を削減することで, 生徒とのコミュニケーションや言語活動に, より多くの時間を割くことができます。

「ワークスペース」で書き込みを自在に切り替え!

書き込みを行う場合は, 「ワークスペース」という機能が便利です。教材に書き込んだ内容がワークスペースごとに保存されるので, 利用する場面に応じて書き込みを切り替えることができます。

全て 英語 (+)

ワークスペース1

さん, こんにちは

ワークスペース 編集

ワークスペース1

ログアウト

COMET 英語コース1

BIG DIPPER 英語コース1

BLUE MARBLE 英語コース1

▲本棚画面の右上からワークスペースの新規作成や切り替えが可能

活用例

進捗に合わせてクラスごとに書き込みを分ける。
→作成した書き込みを消さずに保存し, 別クラスでの指導ができます。

書き込み機能は紙面上でもテキストビュー(次項参照)上でも自由に使用することができます。

●本文テキストビューの活用

本文テキストビューでは, 操作バーから音声再生方法や表示方法を自由にカスタマイズできます。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

Normal 英 A+ 三 マスク 音声再生

Karaoke 日 A- 三 書き込み

① 1文 / 全体のリピート再生

② 音声の再生スピードの変更(0.5 ~ 1.5 倍速)

活用例

生徒が自宅での発音の確認や音読の練習に使用。
→好きな速度で繰り返し音声を確認できるので, 発音やリスニング力の向上に繋がります。

③ 音声の種類の変更(Normal / Faster / Phrase)

※ Faster / Phrase は一部音声で対応

You are now /
high school students. //

Some of you /

▲ Phrase 再生

④ テキストの表示方法の変更

「カラオケ」「フェードアウト」「フェードイン」「フラッシュ」「クローズ」の5種類があります。

You are now high school students.

Some of you feel excited, and others feel nervous.

"How many friends can I make?"

▲カラオケ(再生箇所の色が変わる)

students.

Some of you feel excited, and others feel nervous.

"How many friends can I make?"

▲フェードアウト(英文が前から消えていく)

You are n _ h _ s _ s _

S _ o _ y _ f _ e _ a _ o _ f _ n _

" _ m _ f _ c _ l _ m _

▲クローズ(単語の語頭のみ表示)

活用例

・音声：Phrase → Normal → Faster
 ・表示：カラオケ→フェードアウト→クローズ
 のように多様なパターンで複数回再生し、音読（オーバーラッピング、シャドーイング）を行う。
 全員→ペア→指名して1人ずつなど、段階を追って読む人数を変更しても OK。
 →同じ英文を用いて**多彩な活動**ができ、ゲーム感覚で取り組むことができます。

⑤英語、日本語訳の表示を切り替え

※日の表示は**指**のみ、英・日の同時表示も可能。

活用例

・英語・日本語ともに非表示／Faster で再生
 ・日本語のみ表示／Normal で再生
 ・日本語のみ表示／Phrase で再生
 のように段階的に難易度を下げながら再生し、ディクテーションを行う。
 →各回で**聞き取れた／聞き取れなかった部分を比較**し、自分の弱点を把握できます。

⑥文字サイズ、行間を変更

Some of you feel excited, and
 others feel nervous.

▲文字サイズ・行間を最大に設定

You are now high school students.
 Some of you feel excited, and others feel nervous.
 "How many friends can I make?"
 "Can I find a true friend?"
 You enter the classroom and talk to some classmates.
 If you like each other, you can exchange social media information later.
 In the past, friendships grew slowly, but now it is quite different.
 If you become friends online, you can get in touch anytime.
 Moreover, social media gives you so much information about your friends - their hobbies, favorites, experiences, and so on.

▲文字サイズ・行間を最小に設定**活用例**

文字サイズを大きく、行間を広く設定し、書き込みをしながら文構造を解説。
 音読活動の際には書き込みを非表示にして文字サイズ・行間を縮小し、本文全体を表示。

⑦マスク機能

単語にマスクをかけて隠す機能です。英語コミュニケーションでは新出語のマスク表示ができます。指定した語数でランダムにマスクをかけられるほか、設定画面の表示中に単語をクリックすることで、手動によるマスク追加も可能です。

**▲マスクの設定画面**

If you like each other, you can **social** information later.
 In the past, friendships grew slowly, but now it is quite different.
 If you become friends **you** you can get in touch

▲新出語にマスクをかけた状態**活用例**

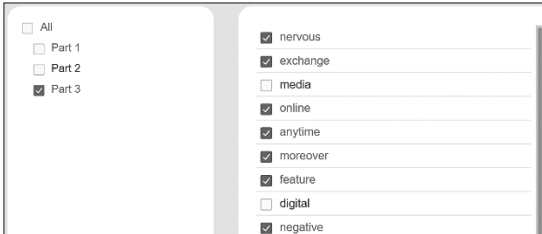
あらかじめ、マスクで新出語や本文中の重要単語を隠しておき、虫食いの状態で音声を再生。
 ・マスク箇所の単語を覚えさせて音読テスト
 ・マスク箇所のディクテーション
 ・聞き取った情報をもとに生徒同士で本文内容をリテリングなどを行う。
 →生徒に意識させたい**重要単語**にフォーカスをあてて活動をすることが可能です。

⑧書き込みの表示・非表示の切り替え

このように、テキストビューの各種機能(音声再生方法やテキストの表示方法の変更、マスク等)を活用することで、多種多様な活動を行うことができます。

●フラッシュカードの活用

フラッシュカード機能を用いて、新出語の確認を手軽に行うことができます。新出語の出題範囲は、レッスン全体からパートごと・単語ごとまで、細かく設定することができます。



▲新出語の範囲選択画面

活用例

- ・レッスンの終わりに新出語をまとめて復習。
- ・間違えやすい単語のみを試験前にピックアップして確認。

また、操作バーから、カードの表示パターンやめくり方などを自由にカスタマイズできます。



- ①カードの表示パターンについては、「英語」「英→日」「日本語」「日→英」の4つがあらかじめ用意されていますが、「カスタム」を選択すると、より詳細な設定が可能となり、「英・日併記」「テキスト無し(発音記号のみ)」などのカードも選択できるようになります。



▲カスタム設定画面

活用例

- ・操作バーのカード設定画面で「カスタム」を選択。「1枚目」は「英語」を選択。音声マークにチェックを入れる。
- ・「2枚目」を ON にし、「テキスト無し」を選択。発音記号マークにチェックを入れる(音声マークにはチェックを入れない)。

→まずは「音声と綴りの確認」を行い、その次に「発音記号を見ながら発声」という練習ができます。細かい発音の違いを意識させたいときなどに特に効果的です。

そのほかに、

- ②シャッフル再生の ON / OFF の切り替え
- ③音声の再生スピードの変更(0.5 ~ 1.5 倍速)
- ④カードのめくり方(自動 / 手動)の設定

※自動の場合はカードの表示時間や間隔を調整できます。

- ⑤単語の再生回数の指定(1 ~ 3 回)
- ⑥音声再生のタイミングの選択

(「同時」「表示の前」「表示の後」)
も操作バーから行うことができます。

このように、設定を自由に変更することで、音読やリスニングをさまざまなパターンで行うことができます。

数研セミナーのご案内

デジタル教科書の活用法に関するオンラインセミナーを開催中です(参加無料)。「授業前の準備」「授業中の演示」「授業後の復習」の3つの場面別に、エスビューアの各種機能や使用例・実践例をご紹介します。本記事ではご紹介しきれなかった内容も盛り込んでおり、動画でわかりやすく説明しています。

詳細は下記 URL または右記 QR コードよりご覧ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<https://www.chart.co.jp/event/eigo/2410>

